

学校だより

平成24年12月21日

長い二学期が終わります

二学期は大きな行事が続き、子どもたちにとっても充実した学期になりました。今年初めての取組として12月2日（日）に参観日を実施し、あわせてPTAバザーを実施しました。参観日では、これまで表現集会を2ヶ月に1回ぐらい学年ごとに実施してきましたが、午前中、表現集会にして全学年分を実施しました。どの学年もこれまでの練習の成果を存分に発揮していたと思います。4月に入学した1年生も成長した姿を披露してくれましたし、6年生は「さすが!」と思わせるを（表現集会の発表12月2日）表してくれました。2年生は昨年と比べ一段と成長した演奏でした。3年生の会場いっぱいの「ソーラン節」も見応えがありました。4年生のひまわりフェスティバルで演奏した「ヤングマン」の再演はすばらしかったし、5年生の充実ぶりは、まもなく最上級生になるという雰囲気を出していたと思います。

何より大切なことは、こういった取組を通して、学級のみんなの「絆」が深まり、今みんなで目指している「魅力ある学校」にしていく機運が育つことだと考えています。

当日実施したPTAバザーは、あいにくの雨になりましたが、多くの方に御協力いただき、例年になく賑わいました。



冬の寒さにも負けず

12月に入りとても寒い日がありましたが、この間子どもたちは持久走によって体を鍛えてきました。練習の成果は、低学年、中学年、高学年と3日間に分けて大会を行い、自分の持っている力を発揮することができました。保護者のみなさまの応援はきっと心強かったと思います。持久走が終わった今は縄跳びで更に寒さに負けない体づくりをしています。



学校評議員会を開催しました

学期に1回ぐらいずつですが、学校評議員会を開催しています。5名の方に学校評議員をお願いし、外部から見た学校の様子について意見を頂き、学校経営に生かしていこうという制度です。先日の評議員会で「地域でのあいさつがよくなりました」という学校評議員さんからの報告がありました。自分からあいさつする子、あいさつをしたら返してくれる子など実態は様々だと思いますが、地域の方々にもあいさつができるということはすばらしいことだと思います。（文責：本山）